

— 関係部課にご回覧下さい —

役 員	部 長	課 長	係 長	係 員

2019年度

中小企業技術者研修

金属材料技術研修 受講案内

期 間 2019年10月～12月

〈特 色〉

- ◇本研修は金属材料を利用する立場（設計や加工など）にある若手技術者を対象とし、金属材料技術に関わる基本的事項を扱います。
- ◇金属材料を利用する上で必要な知識を、実用金属の基本的性質や用途、金属加工法についての講義および材料試験と組織観察の実習を通じて習得していただけます。
- ◇実習では、一人一人に指導が行き届くように配慮し、講義と実習が互いに理解を深め合う内容となっています。

主 催 名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社

中小企業技術者研修 検索

CLICK! 

中小企業技術者研修



《研修生募集要項》

- 研修の目的** 中小企業者または、その従業員に対し技術に関する基礎理論、応用知識およびこれに関連する必要な事項等を研修することにより、中小企業の技術開発力の向上を図り、企業の発展に資することを目的とします。
- 研修期間と時間** **2019年10月31日～12月12日**
原則として毎週木曜日 午前9時30分～午後4時30分(昼1時間休憩)
講義・実習 計42時間
- 研修場所** 名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目4-41
- 募集人員** **定員10名(同一企業からのお申し込みは、2名まで)**
- 受講料** **53,460円(税込)**
- 修了証書** 所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より、修了証書が交付されます。
- 申込方法** 受講希望者は添付の受講申込書、または http://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/giken.doc からダウンロードした申込書フォーム(Word文書)に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。(2、3日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。)
本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。**※大企業からのお申込みについては、募集締切後に受講可否のご連絡をいたします。**中小企業者からの受付状況によって、受講をお受けできない場合があります。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。
※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。
- 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話(052)654-1653 FAX(052)661-0158
E-mail:kenshu@nipc.or.jp
- 募集締切日** **2019年10月10日(木)17時必着**
- 受講料の納入** 募集締切後、受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までにお振込みをご予定ください。
- その他** ○納入された受講料の払戻しはいたしません。
○講義日程等は変更することがあります。
○研修中の事故については、一切責任を負いません。
○本研修を受講された受講生の事業主に対して、**要件を満たす場合**、「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。

— 助成金制度の詳細やお問合わせ先 —
厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

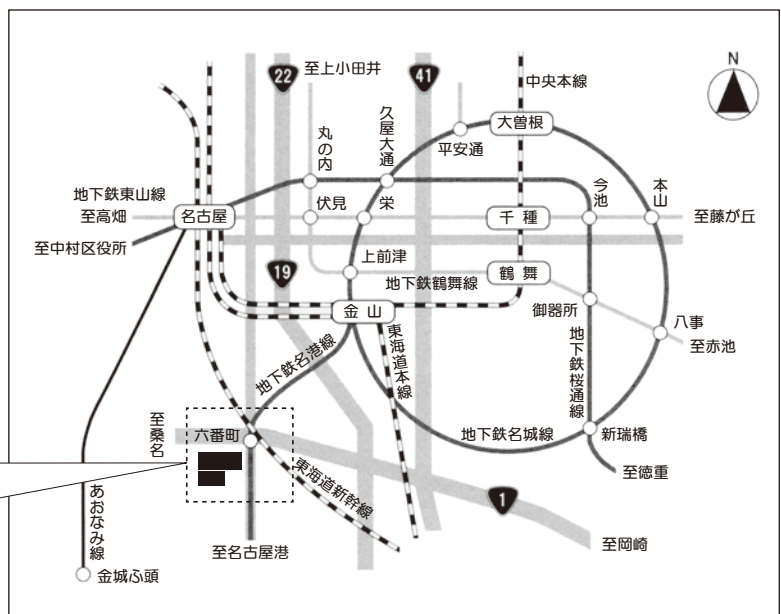
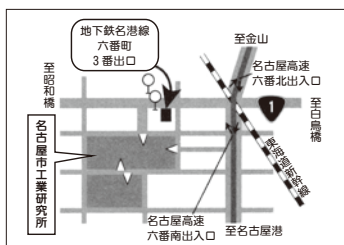
《研修科目と講師》

科 目	月/日	時間	講 師	主 な 内 容
金属材料入門	10/31 (木)	3	メタラジテックコンサルティング 橋 井 光 弥	金属材料の入門的な講習をします。他の科目を受講する上で必要な共通知識を扱います。
鋼の熱処理 —表面改質を中心に—		3	豊田工業大学 奥 宮 正 洋	浸炭、窒化、高周波焼入れなど、表面改質を中心に鋼の熱処理の基礎について解説します。
非鉄金属材料	11/7 (木)	3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 岡 東 寿 明	アルミニウム合金、銅合金の種類、特性、用途について解説します。
金属材料分析		3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 大 橋 芳 明 加 藤 雅 章	各種分析方法の特長と装置の選択について解説します。分析を依頼する際の留意点についても説明します。
合金鋼	11/14 (木)	3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 松 井 則 男	構造用低合金鋼、工具鋼、ステンレス鋼等の特性、用途などについて解説します。
材料試験		3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 玉 田 和 寛	材料試験の考え方を解説し、金属組織試験・引張試験・硬さ試験・衝撃試験・疲労試験などについて紹介します。
組織試験1 (実習)	11/21 (木)	3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 岡 東 寿 明 玉 田 和 寛 杉 山 周 平 松 井 則 男	鋼のマクロ・ミクロ組織試験法習得のため、試料調整から組織観察までの一連の操作方法の実習を行います。
衝撃試験 (実習)		1.5	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 岡 東 寿 明 玉 田 和 寛	シャルピー衝撃試験の実習を行います。鋼の熱処理と衝撃値との関連を検討します。
引張試験 (実習)		1.5	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 深 谷 聡 金属・表面技術研究室 杉 山 周 平	引張試験の実習を行います。鋼の熱処理と強度等の機械的性質との関連を検討します。
組織試験2 (実習)	11/28 (木)	3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 杉 山 周 平 松 井 則 男 製品技術研究室 田 中 優 奈	鋼の熱処理によるミクロ組織の変化について実習を行います。
硬さ試験 (実習)		3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 岡 東 寿 明 玉 田 和 寛	ロックウェル、ビッカース、マイクロビッカース硬度計の操作・測定方法を実習します。

科 目	月/日	時間	講 師	主 な 内 容
金属の破壊と破面		3	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 夏 目 勝 之	金属破面の特徴、破損事例紹介、破損原因調査と対策について解説します。
破 面 観 察 (実 習)	12/ 5 (木)	3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 岡 東 寿 明 玉 田 和 寛 杉 山 周 平 製品技術研究室 田 中 優 奈	走査電子顕微鏡およびマイクロスコープを使用して、金属材料の破面を観察する実習を行います。
金 属 加 工 法 1 粉 末 冶 金		3	名古屋市工業研究所 金属・表面技術研究室 松 井 則 男	粉末冶金法の概要（製造工程・特長・用途など）について紹介します。
金 属 加 工 法 2 塑 性 加 工	12/12 (木)	3	名古屋市工業研究所 生産システム研究室 村 田 真 伸	塑性加工法の基礎的な知識を学習します。プレス加工、鍛造、圧延などの各種塑性加工法を解説します。

交 通

- 地下鉄 名港線「六番町」下車3番出口すぐ
- 市バス「六番町」下車すぐ
- 三重交通バス「名鉄バスセンター」3階から乗車し「熱田六番町」で下車すぐ
- 名古屋高速4号東海線「六番北」、「六番南」出口すぐ



連絡先 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話 〈052〉654-1653 FAX 〈052〉661-0158
E-mail:kenshu@nipc.or.jp

中小企業技術者研修受講申込書

年 月 日

(あて先) (公財)名古屋産業振興公社ものづくり人材育成課 FAX 052-661-0158

2019年度中小企業技術者研修の【 金属材料技術 研修】受講を申し込みます。

ふりがな 企業名	
企業代表者 役職名 氏名 生年月日	年 月 日
所在地(本社) 住所	〒
TEL・FAX	TEL FAX
ホームページ URL	
資本金・従業員数	資本金 万円 従業員数 名
業種(下記一覧より記載)	
主要製品	

受講者	
ふりがな 氏名 所属・役職名	
勤務地 住所	〒
TEL・FAX	TEL FAX
担当業務	

連絡責任者	
ふりがな 氏名 所属・役職名	
請求書等 書類送付先 住所	〒
TEL・FAX	TEL FAX

(業種分類一覧)

0001 食料品製造業	0012 なめし革・同製品・毛皮製造業	0023 輸送用機械器具製造業	0034 学術研究, 専門・技術サービス業
0002 飲料・たばこ・飼料製造業	0013 窯業・土石製品製造業	0024 その他製造業	0035 宿泊業, 飲食サービス業
0003 繊維工業	0014 鉄鋼業	0025 農・林・水産業	0036 生活関連サービス業, 娯楽業
0004 木材・木製品製造業(家具を除く)	0015 非鉄金属製造業	0026 鉱業	0037 教育, 学習支援業
0005 家具・装備品製造業	0016 金属製品製造業	0027 建設業	0038 医療, 福祉
0006 パルプ・紙・紙加工品製造業	0017 はん用機械器具製造業	0028 電気・ガス・熱供給・水道業	0039 複合サービス事業
0007 印刷・同関連業	0018 生産用機械器具製造業	0029 情報通信業	0040 サービス業(他に分類されないもの)
0008 化学工業	0019 業務用機械器具製造業	0030 運輸業	0041 公務(他に分類されるものを除く)
0009 石油製品・石炭製品製造業	0020 電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031 卸売・小売業	0042 分類不能の産業
0010 プラスチック製品製造業	0021 電気機械器具製造業	0032 金融・保険業	
0011 ゴム製品製造業	0022 情報通信機械器具製造業	0033 不動産業・物品賃貸	

※ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡や名古屋市工業研究所及び当社の開催する研修の案内以外には使用いたしません。暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。なお、その判断をするに当たっては、暴力団員であるかどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。